新しい生活様式における民生委員児童委員活動に向けて

News letter　M I N S E I

Vol. 11　2023.5

川崎市多摩区生田第2地区民児協の活動をご紹介します

グループごとに考えた「どんな地域に住みたいか」をご紹介！

「どんな地域に住みたいか」を軸に

川崎市多摩区生田第２地区民児協では、令和３年６月～令和４年８月の期間で地域版活動強化方策※（以後、方策）の策定に取り組みました。

この地区の会長及川伸子さんは「方策策定の手引きを読んでも何から取り組めばよいか悩んだ」と切なる思いを話してくれました。方策を作るというと漠然としているので『今から10年20年先にどんな地域に住みたいか』というテーマを設定し、検討を進めることにしました。正副会長を除く30名の民生委員を５グループに分け、のべ40回ほどの話し合いを実施し、その全てに正副会長が参加。取材当日の８月下旬は、各グループで話し合われた内容を基に生田第２地区民児協として「今後、取り組んでいく活動」について策定委員会で話し合っていました。

※地域版活動強化方策とは…各民児協がこれからの活動目標を明確にするために作成するものです。これまでの民生委員・児童委員活動、民児協活動を振り返り、整理することを目的に取り組みます。何か新たなことに取り組むことを意図したものではありません。（全民児連発行「民生委員制度創設100周年活動強化方策　推進の手引き～『地域版　活動強化方策』の作成に向けて」（平成30年9月）より）

各グループのリーダーは１期目の民生委員に！

策定委員会は、１～５グループのリーダー、１期・２期・３期・４期・５期目以上の各代表、正副会長からなり、グループで話し合われている内容を定期的に話し合い、進捗状況の確認やお互いの情報を共有します。

グループのリーダーは「まっさらな状態から話してもらいたい」との思いから１期目民生委員に任せることに。ベテラン民生委員も１期目民生委員を支え、協力していこうという気持ちになり、話し合いを重ねるごとに内容について深まるとともに、横のつながりも強くなったそうです。

リーダーを担った１期目民生委員は「自分の力だけではやりきれなかった。先輩委員のフォローが心強かった」などチームメンバーへの労いや感謝の声が多く聞かれ、民生委員個々のモチベーションが高まるだけでなく、民児協全体の士気も高まっている様子が伺えました。

策定委員会メンバーのみなさん

グループ提案内容の具体化と方策を意識する工夫

策定委員会では、グループごとに考えた「どんな地域に住みたいか」について各リーダーより発表しました。例えば、民生委員が活動上で感じる一番の課題を「高齢者の孤立化」としたグループでは、高齢者の暮らしに役立つ情報をまとめた情報紙発行を提案。「地域にどんな人がいるか知らない、地域の情報が入ってこない」ことに焦点をあてたグループでは、情報を得るには色々な人と顔見知りになり、信頼関係を築き、日常的な交流が欠かせないのではないかということから「誰もが気がるに立ち寄れる全世代型のカフェ」の実施を提案するなど、グループごとに特色ある発表がされました。グループでの検討内容は、生田第２地区民児協全体の方策として、位置づけることとなりました。カフェの試行実施や情報誌発行に向けた広報委員会や研修の見直しのための研修委員会が立ち上げられ、すでにスタートが切られています。また、方策の内容を意識していけるよう、チェック表のようなものを毎月提出してもらうという提案もされ、策定メンバーだけでなく、民児協全体に伝える視点も大切にしています。

民生委員が対象者にお届けしたい情報をお手紙に書いて届けます

楽しく、真面目に地域を考える

「グループで話し合いを進めてきたことで、活動に対する想いをみんなで確認しながら、形だけではない方策ができた。方策は作って終わりではなく、ここからが活動のスタートなので『やらされ感』のないよう、みんなと楽しくやっていきたい」と及川さん。

この思いが他の民生委員にも伝わり、熱心に、真面目に、でも楽しく、全員で想いを出し合う「場」が生まれていました。この場が方策の具体化とともに民児協活動のエネルギーとなり、活動の充実につながる様子が伺えました。

＊神奈川県社協 民生委員児童委員部会は、県・政令市の民児協が参画する協議体です。様々な地域性やきめ細やかな幅広い委員活動から得る多様な情報や知恵を集結し、県政令市の枠を越えて、交流、研修情報収集、意見具申など、スケールメリットを活かした協働事業の運営を行っています。
＊このニュースレターは、神奈川県内の民生委員児童委員向けに「新しい生活様式」に向けた委員活動やコロナ禍における委員の思いを発信するために、不定期に発行します。

HP：神奈川県社協民生委員児童委員部会

ツイッターアカウント：@kanagawa_syakyo

身近な地域で活動する民生委員児童委員のことを多くの方に知っていただけるよう、30秒のPR動画を作成しました。ぜひご覧ください！！